

（■「ご希望はリラクゼーションコースですか？」）

【詩織】

お帰りなさいませ、ご主人様。

当店へのご帰宅は、初めてでしょうか？

かしこまりました。それではまず始めに、当店のご説明をさせていただきます。

ここは、軽食やお給仕によって、ご主人様に心からご満足いただくための、メイド喫茶となっております。

それでは早速、お席の方に…あ。

その、お持ちになっているカード…少々、拝見してもよろしいでしょうか？

ありがとうございます、それでは…失礼いたします。

…なるほど。

ご主人様は、ご紹介を受けた方だったのですね。

申し訳ございません、先ほどのご説明に、一点ほど付け加えさせていただきます。

当店では、軽食やお給仕とは別に、オイルを用いた全身マッサージなどをご提供させていただく、リラクゼーションコースもございます。

ご主人様のご希望は、そちらでよろしいでしょうか？

かしこまりました、それでは奥の個室へのご案内いたします。

…あの…お部屋まで、少し距離がありますので、ご主人様の右手を握らせていただいても、かまいませんか？

…あ。ありがとうございます。

それでは、失礼いたします…。

【詩織】

ふふ、ご主人様の右手…とても温かいですね。

え…私の手も、ですか？ それに、細くて綺麗だなんて…もう、照れてしまいます。そのようなお言葉、私、初めてで…。

…あ、このお部屋でございます。どうぞ、お入りください。

お入り頂けましたら、お部屋の中央にございます、こちらのベッドにお掛けください。僭越ながら、私もお隣に…失礼、いたします。

…あ、すみません、私ったら、ずっとご主人様の右手を握ってしまいました。
うう…先ほども、言葉に詰まってしまって…最初は、上手くご説明できたと思ったのです
が…。

…はい、分かり、ますか？ 実は私…リラクゼーションコースの研修は一通り済ませた
のですが、お客様…じゃなかった、ご主人様に施術をするのは初めてで…。
もし、ご不安があるようでしたら、他の方と交代させていただく、というの…。

…え、私で、よろしいのですか？

ありがとうございます。私、まだまだ至らない点もありますが、ご主人様が癒さ
れるよう、精一杯頑張ります。

…あ、自己紹介がまだでしたね。すみません、私は、詩織と申します。

ご主人様専用の…メイド、です。何卒、よろしく願います。

…えへへ、少し…硬かったですか？ では、もう少しだけ柔らかく、しますね。

私も、こういう口調はちよつと苦手で…。でも、ちゃんとメイドとして、失礼のない
ようにご奉仕しますね。

（■癒しハンドマッサージの奉仕）

（詩織）

まずは…簡単な質問をしたのち、ハンドマッサージを行います。

マッサージの際には、このキャリアオイルをご使用します。

あまり多く取り出すと、ベタついてしまいますので、少量を…私の手に。

そうして、手のひらにオイルを馴染ませてゆきます。

…あの、マッサージの前に、少々お尋ねしたいのですが。

ご主人様は、お身体の、どの部分がお疲れになっていますか？

肩や腰…ですね。長時間、椅子に座っていることが多いですか？

…なるほど。デスクワークは、立ち仕事に比べてご負担が軽いと思いますが、姿勢に
よっては、立ち続けるよりも疲労が溜まってしまふんです。

本日は、日頃のお疲れを取り除けるよう、ご主人様に合ったメニューをご提供いたします
ね。

それでは、オイルが手に馴染みましたので、これからハンドマッサージを行います。

まずは右手から、失礼しますね…？

ん…このように、私の両手でお包みいたします。

そして、万遍なくオイルを塗り込んでまいります…。

ん、はあ…んう…。

ご主人様のぬくもりが伝わってきて…ドキドキ、してしまいます。

ん…とっても、綺麗な指ですね…。でも、綺麗だけではなく、男性の…力強さも感じます。

今度は、手のひらを返していただきまして、手首から指の付け根にかけてを、揉み解してまいります。

ん、しょ…このように、少し圧を掛けさせていただきますね。

力を加えて、特に指の間を重点的に…ん、しょ…ん、しょ…。

指で挟んで、もみもみ…もみもみ。

このオイルには、ラベンダーの香りがする精油…エッセンシャルオイルも、少々混ぜておりますので。

ときおり、爽やかなお花の匂いが、薫る かおる かと思います。

ラベンダーには安眠の効果や、心を落ち着ける作用がございますので…とっても、リッラクスできるんですよ。

ん、しょ…ん、しょ…もみもみ、もみもみ…。

…はい、これで右手はお終いです。

…いかが、でしたか？

…わあ、ご満足いただけたようで、とっても嬉しいです。

仰る通り、少し手のひらが温かいのは、マッサージによって血行が良くなったおかげです。ふふ、今度は左手の方も、もみもみ…いたしますね。

それでは、失礼します…ん…まずは、手のひらにオイルを馴染ませて。ぬりぬり、ぬりぬり…。

指の一本一本に…心を込めて…ん、はあ…。

そろそろ馴染んできましたので、全体的に揉み解してまいりますね。
左手のマッサージは、少し趣向を変えまして…

ふふ、このように、囁きながら、ケアをしてゆきます。
ん、しょ…ん、しょ…

私のお声を、より身近に感じていただければと、思います…。
ん、ふう…ん、しょ…はあ…

少し、お耳がくすぐったいですか？ しだいに…だんだんと、心地よくなりますよ。
ん、ふう…ん、しょ…んう…

このように、皮膚を軽く引っ張ったり、揉み解すだけでなく…
ぐいぐいと押してみるのも、気持ち良いんですよ。

ご存知かもしれませんが…。手には、様々なツボがございまして。例えば…手の甲にも、
とっても気持ち良い箇所があるんです。

ここの…親指と人差し指の付け根辺りにある…少し窪んだところ…。
合谷（ごうこく）というツボを…ぐりぐり、ぐりぐり…

いかがですか？ じんわりとした温かさが、手のひら全体に滲んでゆきます…
ん、しょ…ぐりぐり、ぐりぐり…

このツボは、頭痛や肩こりにも効果があります。
んっ…ふう。

手のひらは、普段の生活でも、スマートフォンやパソコンの操作など…たくさん使います
ので。

見えない疲れや、負担が溜まってしまいます。
なので…んう…たまにはマッサージをして、手のひらに刺激を加えると…。思っていた以

上に、すっきりとした気分になれるんですよ。
…ん、しょ…ん、しょ…

ぐりぐり、もみもみ…。

…はい、これでハンドマッサージはお終いです。
…私の囁き、気持ち良かったですか？

ふふ…癖になりそうって、本当ですか？ でしたら、お耳元が恋しい時に、また囁いちや
いますね。

あ…お身体の方は、いかがですか？
施術する前と比べて、血の巡りが良くなり、手のひら全体が、ぽかぽかと温かくなってい
ると思います。

…え、ち、違いますよう、私の熱が移ったわけでは…うう。
確かに、長い間ぎゅうっと握ったりはしましたが…っ。
…もう、あまりからかわないでください。

……本気に、しちやいますよ？

なーんて。冗談、です。

失礼ながら、お返し……しちやいました。

（■温もりマッサージ）

（詩織）

次は、ご主人様の硬くなったお身体を、私の手で揉み解してまいります。

最初は肩からマッサージをいたしますので、このまま後ろから……失礼しますね。

ん、しょ……もみもみ、もみもみ。

んう……ご主人様の肩、想像以上に……凝っておられますね。

長い時間、同じ姿勢でいることは、お身体に悪いんですよ……。ん、しょ……

もう少しだけ、力を込めますね。ん、しょ……もみもみ、もみもみ。

力加減の方は、いかがですか？

ちようどいい……ですか、ではこのままで……んう……っ

やっぱり、男性の肩幅は広いですね。それに、筋肉がしっかりとっていて……逞しいです。

私は、女性のお身体で練習させていただくことが多かったので……んう……マッサージの、し甲斐が、あります……っ。

ん、しょ……んう……はあ。

ご心配……してくださるのですか？ ふふ、ありがとうございます。

でも、大丈夫ですよ。ご主人様のお身体を癒せるのは、メイドとして、この上ない喜びです。

ん、ふう……だいぶ、肩の筋肉がほぐれてまいりました。

ん、しょ……んう……。

ふう……いかがですか？ これで、両肩がいくぶん軽くなったかと思っています。

そうですか、ありがとうございます。

でも、マッサージはまだ終わりませんよ。次は、お身体を横にして……うつ伏せになっていただければ幸いです。

はい、では……お身体が冷えてしまわぬよう、上から薄手のタオルをお掛けいたします。ん、しょ……。

頭や首回りなど、体勢は…苦しくはございませんか？

…そうでしたか、リラックスできているようで、私も嬉しく思います。

これからも、もっともっと、心地よい気分に浸っていただきたいので…。

今度は、腰回りの按摩（あんま）を行いますね。

…その際、軽く叩いたり、揉み解すなど…全身の凝り固まった筋肉を、手のひらで和らげてまいります。

ん、しよ…まずは腰回りを、もみもみ…とんとん。

腰は繊細な箇所で、けっこう痛めやすいんです。

なので、肩よりは弱い力で、揉み解しますね。

ん、しよ…さすさす、もみもみ…。

ん、んう…ご主人様のお身体、んう…腰の辺りも、中々凝っていますね。
普段から、頑張りすぎだと思えますよ。ご無理など…していませんか？

ご主人様は、頑張り屋さんなのでですね。

辛い作業や、お仕事にも一生懸命で…そういう姿勢、といいますか。

きちんと頑張っているお方って、すごいと思います。

ご主人様、とつてもご立派です…なんて、少し上から目線、だったでしょうか。

そんなこと、ありませんか？ でしたら、もっとご主人様のこと、お褒めいたしますね。

…ご主人様は、お優しく…何事にも一生懸命で…うう、上手くは言えないんですけど、ドキドキしてしまう、というか…。

あ、いえっ、な、何でもございません。あの、言い間違えました。

あはは…マッサージの方、続けますね…？

ん、しよ…はあ、ご主人様のお身体、温くなりましたね。

私の手のひらにも、温もりを感じます。

ん、しよ…あと、もう少しだけ…ん、しよ…んう…ん、しよ…んう…っ。

ご主人様…。もし、頑張りすぎた後は、私のこと…頼ってくださいますと、嬉しいです。

私も…ご主人様のような人のためなら、頑張れちゃうと思うので…。

このように、ん、しよ、ん…んう…。

ふう…お身体の方、楽になりましたか？ 上体を起こしいただいて、ご確認ください。

溜まった疲れや、凝りも取れたんですね。ふふ、それは良かったです。

え…名残惜しい、ですか。

ふふ、大丈夫ですよ。私のマッサージは、まだございます。
確かに、疲れの溜まっていた手から肩…腰の方も揉み解しましたが。
まだ、マッサージしていない部分があるんです。
先ほど、ご主人様がお気に召してくれたところ…。

……お耳、ですよ。

（■お耳のオイルマッサージ、献身耳舐めご奉仕）

【詩織】

このように、ご主人様に寄り添いながらの、お耳マッサージです。
まずは、手のひらにオイルを垂らして…ん。

ご主人様の右耳を、軽くマッサージしていきます。

耳たぶを、ぐいぐい…。ぐいぐい…。

指の間で摘まむようにして、少し引っ張っちゃいます。

ん、しょ…。だんだんと、耳たぶから上の方に…ん、ぐいぐい…。

お耳って、あんまり意識しない部分ですよ。

でも、お耳にはたくさんさんのツボがあって、こうして刺激するだけでも、無駄な力が抜けて
…リラックスできるんですよ。

ん、しょ…。ぐいぐい、ぐいぐい…。

外側の次は、お耳の表面です。

オイルを塗り込むようにして、下から上へ…右耳の窪んだところを押してまいります。

ここも、色々なツボがあるんですよ…ん、しょ…。ぐりぐり、ぐりぐり…。

肩こりなどの、身体の不調に効くツボ…。

少し、痛いかもしれませんが…そこが、一番効果のあるところなんです。

指の腹を使って、ぐりぐり…ぐりぐり…。

ご主人様、気持ち良いですか？

そうですか、ありがとうございます。

気持ち在和らいで、少しずつ…痛気持ち良く…お耳を押されるたび、それが快感に変わっ
てゆきます。

ん、しょ…。んう…。ぐりぐり、ぐりぐり…。

あんまり押しすぎると、皮膚が腫れてしまいますので、ここまでです。

次は反対側をマッサージしますので、ご主人様の左側に座らせていただきますね。

ん、しょ…。

【詩織】

ん…今度は、左耳を解していきます。
では、失礼しますね…ん。

同じように耳たぶから、ぐいぐい…ぐいぐい…。

じんわりと、お耳が温かくなっているのを、感じますか？

マッサージが、効き始めているんです…ん、しょ…んう…。

表面の方も、ぐりぐり…ぐりぐり…。

辛い肩こりには、患部を揉む解すことも効果的ですけど…

こうやって、お耳のツボをマッサージしていくのも、お身体にいいんですよ、しょ…んう、はあ…。

お耳の少し下にあるツボも…ん、しょ…。目に見えない、リンパの流れが良くなって、お身体の疲れにも効くんです。

ん…はあ…。

…お耳って、とっても大事なところなんですよ。

イヤ―エステ、という言葉もあるくらいで。リラクゼーションにも、効果があるんです。普段はあんまり意識していない、お耳…。

ご自分で意識して触ることも、少ないと思います。

でも、こうして優しく触れて、少し刺激を加えると…。

お耳だけでなく、全身へ気持ち良さが広がっていくんですよ。

ん、しょ…んう…。

これを機に、お耳のことも、少しだけ意識してみてくださいね。

軽くマッサージするだけでも、気分が落ち着いたり、疲れが和らいだりするんですよ。少なくとも、疲労を溜め込んでいるよりは、ずっと楽になるかと…。

…え、自分でするよりも、私に、マッサージしてほしいんですか？

ふふ、もちろんですよ。

先ほども言った通り、もっともっと、私を頼って下さいね。

私でよろしければ、お身体が気持ち良くなるようなこと、たくさん…しちゃいますね。ん、しょ…んう…。

あ…ご主人様、残念そうなお顔ですね。

私のマッサージ…もっと、受けていただけますか？

ふふ…かしこまりました。というよりも、本番はここから…なんです。
まずはご主人様のお耳に…ん、ちゅっ

私の、初めてのキス…です。

少し恥ずかしいですけど…もっと、身体を寄せて…ん。

私の胸…ご主人様の左肩に、くっ付きちゃってます。

あの…気持ち良い…ですか？

ありがとうございます、温かくて、心地良いんですね…。

少し自信がなかったので…そう言っていただき、とても嬉しいです。

ん…はあ。胸だけでなく、ご主人様のお顔も…近くて…ん。

（ここからオンマイク、指定があるまで囁くように）

ちゅう…ふふ。やっぱり、お耳…敏感なんですね。

こうして、お耳にキスされるは、恥ずかしいですか？

…私も、同じ気持ちです。左胸がドキドキして…でも、それだけではなくて。

甘酸っぱくて…胸が満たされるような、心地です。

この気持ち…ご主人様と触れ合えば、分かるかもしれません…。

んう…ちゅっ、んちゅう…はあ、んれろお、れるう…。

はあ…ご主人様のお耳、舐めちゃいました。

とっても綺麗な形、しています…んれろお、んれろ、ぴちや、んれるう…。

お耳の中、ゾクゾク…しますか？ もっと、耳舐めのご奉仕…いたしますね…。

んれろ、んれるう…ん、れろろ、はあ…んちゅっ、ちゅう…んれろ、れる、れろお…。

んちゅう、れろろ、れる、れろお…はあ、んう…んれろ、れる、れろろ、んれるう…。

はあ…驚かれましたか？ このリラクゼーションコースは、文字通り…全身のマッサージも行っているんです。

お耳や、手のひら…肩…腰回りや…大事なところも、含めて。

ご主人様に、全身で気持ち良くなっていたたく…コースなんです。

ん…ちゅう。この耳舐めも、そのうちの一つ…というわけです。ん…はあ、んれろお、んれる、ちゅう…。

はあ…んれろ、んちゅっ、れるう…んう、んれろ、ちゅっ、れろお……はあ。

ご馳走様でした、なんて。ふふ…ご主人様のお顔、蕩けちゃっていますね…。

（■5寝そべり全身マッサージ）

【詩織】

お次のメニユーは、全身へのマッサージとなっております。
このお部屋にある、シャワールームでのご奉仕となります。

その…先ほどご説明した通り、エッチなことも、しちゃいますので…。
服を、脱がなくてはいけないのですが…ご主人様は、私とするの…ご迷惑では、ありませんか？

あ…。ありがとうございます。私も、緊張しちゃいますけど…その、一緒に、気持ち良くなりましょうね。

…では、シャワールームの方へまいりますよう。ご主人様の左手、握らせていただきますね。

ん、しょ…。

【詩織】

やっぱり…ご主人様の手を握っていると、安心します。

最初にご案内した時と比べて、言葉が自然に出てきますし…。

ご主人様との、心も距離も…縮まりました。

えへ…馴れ馴れしかった、ですか？

少し間

そんなこと、ありませんか？

ご主人様、お優しいです…。

…あ、着きましたよ。ここで、まずはご主人様のお洋服を脱がして差し上げます。

【詩織】

ん…では、失礼しますね…。

はあ…ご主人様の肌が…。ん…下の方も…。

んう…ひゃっ、これが…ご主人様の…。

お、おちんちん…。あ、大きく、なって…。

私のご奉仕で、興奮…してくださったんですね。

これからも、もおっと気持ち良くしますので…次は、私のメイド服も…んう…。

はあ…恥ずかしい、です…。あの、あんまり見ないでいただけると…んん。

そんなに、見たいの…ですか？

もう…ご主人様だけ、ですからね…ん。これで…。

はあ…全部、脱ぎましたよ。いかが…ですか？

胸…綺麗な形、していますか。ふふ、ありがとうございます。

ご主人様に満足していただけるよう、この身体で、ご奉仕しますね。
それでは、浴室の中へ…。

ご主人様、お部屋の真ん中に敷いてある、このマットの上へ…仰向けになってください。
私は、ボディソープを泡立てて…それを全身へ…。

ん…胸から、お腹…そして、あそこ…足の先まで…んう…。

これで、全身泡だらけです。その、ヌルヌルの身体のまま、ご主人様の上に、重なりま
すね…。

【詩織】

ん、はあ…。

私の身体…重くは、ないですか？

そうですか…えへへ、ご主人様の胸板、少し硬くて…とっても、逞しい感じがします。

私の、このおっぱいとは大違いですね…ん、はあ…。

女の子の胸は…柔らかくて、ふわふわ、していて…。

ご主人様の胸板で、んう…形を変えて…んあ、んん…っ。

はあ…気づいちゃい、ましたか？

おっぱいの先っぽ…乳首が、肌と擦れて…んう。

少し、硬く…なっちゃいました。ん、はあ…。

胸板と擦れて…んっ、コリコリ、していますよね。

ご主人様も…乳首、感じますか？

こうして、指で摘まんでコリコリ、コリコリ…。

ふふ…男の人でも、乳首…気持ち良くなっちゃうんですね。

ん、しょ…んんう…指の腹で転がすように…んう。

はあ…ご主人様、女の子みたいな声、漏れていますよ。

今度は全身で…んんう、はあ…んん…！

…ご主人様、私の全身マッサージ、気持ち良い、ですか？

私も、同じです。

ご主人様の、男性の身体で…んうっ、感じちゃって…ます…。

んん…ああ、硬いモノが、お腹に当たって…んんう。

すごい…です。もう、こんなに…。勃起、しちゃったんですね。

んう、はあ…お腹の上で、擦れて…んあっ、んん…っ！

はあ…ご主人様の、おちんちん…とっても、熱いです…。

こんなに、硬く張り詰めて…。んく…おっぱいや、お腹よりも…もつと下。

私の、熱いところに…これが触れたら…ん、ひゃっ！

ああ…ご主人様のおちんちん、私の身体の、どこに触れているか…分かりますか？

そうです…私の大事なところ…お、おまんこ、です。

んう…っ、はあ…ここが、ご主人様のモノを、一番気持ち良くできるんですよ…。

んん、はあ…どうですか？ 少し温かくて、ボディソープとは別のヌルヌルが…先について。

んあっ、前後に擦るたびに…んんっ、エッチな音、響いちやいます…んっ、あああ…。

私のここ…お、おまんこ…ご主人様と触れ合っていると、ヌルヌル…止まらなくて…。

ああ…こんな気持ち、初めて…です…んんっ！

はあ…ん、あ…んんっ、ひゃっ…あ、はあ…んんう…あっ、あああ…っ。

んんうっ！ はあ…ん、はあ…。すみません、私、ご主人様よりも先に…軽くいつてしまっ…。

ご主人様のおちんちん、苦しいですよ…。

では、その…私の中で…特別なマッサージは、いかがでしょうか…？

私でよければ、ですけど…。ご主人様と…一つに、なりたいんです。

（■6 密着膣内 マッサージ）

【詩織】

表向きは、膣内マッサージ、と言っておりますが。

この行為は…セックス、です。

メイドの希望によっては、ご主人様と…交わることができるんです。

もちろん、ご主人様が嫌と仰るのなら、それに従います。

ご主人様は、私のこと…受け入れて、くださいますか？

ありがとうございます、私…とっても、嬉しいですっ。

では、ご主人様のおちんちんを…このまま私の秘部…おまんこの、中へ…。

んう…あ、つく…。

中…きつい、ですか。んう、はあ…大丈夫、ですよ。

もつと、奥へ…んっ、はあ…膣の中が、おちんちんの形に、広がって…。

はあ…もう少しで、一つ、に…んんう…。

あああっ…奥まで、入り、ましたあ…んう…。
ご主人様の、温もり…お腹の中に、感じます…。
ん、はあ…このまま上下に動くのですが…その前に。
ご主人様の側に、寄り添いますね…。密着しながらの、膣内マッサージ…です。
では…身体を倒しますね。

【詩織】

んう…ああ、ご主人様の胸板の感触…力強くて、何だか…ほっとします。
ん…はあ…では、そろそろ…動きますね。

ご主人様はそのままで、大丈夫ですよ。私が、上に載ったまま…。

んっ、ああ…ご主人様とお…んんう、本当に…セックス、しちゃって、ます…っ。
んんあ…はあ…おまんこの中、何度も…出たり入ったり、して…はあ、奥のところ、擦れ
てえ…んんっ！

ご主人様あ…私、幸せ…です。

ん、ああ…あそこだけはなく、お口の方も…ご奉仕を…ん、ちゅっ。
はあ、んちゅっ、ちゅう…ん、はあ…。

ふふ、キス、しちゃいました。ご奉仕なのに、私の胸も、満たされて…。

ん、はあ…もっとお…んちゅっ、ちゅっ、んれろお…はあ。

お耳へのキスはしましたが、お口でのキスは…んう、私も、気持ち良くて…んんう。

はあ…舌が中に…んれろ、んれろ、んちゅっ、はあ…んちゅう…んれろ、れろろ、んむう
…っ。

はあ…ご主人様のお顔、蕩けていますね…ん、はあ…私も、ですかあ…？
だって、こんなの…んあっ、仕方、ないですよお…っ。

んっ、あっ、ああ…っ、奥まで突きあげてきて…んうっ！

はあ…ヘンな声が、出てしまい、ますう…んあっ、ああ…っ。

これが、セックス…なんですね…ん、はあ…。

ご主人様のおちんちん、ちゃんと気持ち良く…導けて、いますか…？

ん、あああ…私も、ですよ…っ。

腰を動かすと、ご主人様のおちんちん、深いところで、ぐりぐり、マッサージしてきて…
っ。

んあ……！

私、はしたない子に、なっちゃいますう…んあっ、はあ……んんう！

ご主人様の前、だけですからね…んんっ、ああ…っ。

ご主人様が、ご主人様の、おちんちんが…っ、私を淫らなメイドに、んう…変えるんです
…っ！

ふぁっ、あん！ あぁ…声、抑えられません…っ！
浴室に、エッチの音、響いて…んぁっ、おちんちんで、突かれる声もお…んぁっ、ひゃっ、あん！

んう…頭の中が、ふわふわして…あそこも、熱くてえ…んんうっ。
私、また…気持ちいいものが、込み上げて…あぁっ、きましたぁ…っ。
ご主人様のおちんちんも、私の中で、びくびく震えて…んんっ、あぁ…！
そろそろ、なんですね…んう、良いですよ…このまま一緒に、昇りつめましょう…。

んぁっ、あん！ ご主人様ぁ…もう一度、キス…しても良いですか？

んっ、あ、はぁ…ありがとうございます、ございまふう…ん、んんっ、んむう…ちゅっ、んっ、んんう…っ。

はぁ…私、気付いちやい、ましたぁ…。

この甘酸っぱい気持ち…心の奥まで、満たされるような温かさ…。

私、ご主人様のこと、好きになって…しまいましたぁ…んっ、あぁぁ…っ。

お慕い、申し上げております…ん、なんて。

本物の、メイド…みたいですか？

んんう…でも、私は、こうしてご主人様に寄り添うことができて。

本当の、メイドになった気が、します…んんうっ。

ご主人様のおかげ、ですよ…んんっ、あぁっ…！

んんっ、はぁ、んう…、ん…あっ、はぁ…。

最後は、このまま…私の中に、出して…ください。

ご主人様の濃い精液、私の奥まで…全部、受け止めますからぁ…。

んんっ、あぁっ…！ あんっ、んんう…！

はぁ…私、もう…んんっ、おまんこの中、燃えちやうくらい、熱くて…。

中で擦れる…おちんちんの形、はっきり、分かって…んんっ、あぁぁ…っ！

もう、本当…にい…んっ、あぁっ、大きな、波のような快感、絶頂…がぁ…っ。

んぁっっ、あっ、あぁ、あっぁっぁっ、

—ひゃぁぁっ…！ んんっ、あぁぁ…っ。

すごい、です…熱いの、中で弾けて…んんう…とっても、温かい、です…んんう…。

はぁ、はぁ…ご主人様。私の中は、ご満足…いただけましたか？

ありがとうございます、私も…とっても、気持ち良かったです。

ご主人様…大好き、ですよ。

ん…ちゅっ。

繋がったまま、もう少しだけ、このままで…。

.....。

（ ■「ご主人様だけのメイドに...」 ）

【 詩織 】

ご主人様、来た時と比べますと、何だかすっきりしたお顔をしていますね。
ご満足いただけたようで、とっても嬉しいですっ。

え...私も、明るくなった感じ、しますか？

えへへ...ご主人様のおかげです。

すっかり緊張もなくなって...お堅い言葉遣いも...あ、喋り方のほうは、ほんととはダメなん
ですけどね。

お店の方から、お叱りを受けちゃいますし...ふふ、お優しいご主人様の前だけ、ですよ。

...あ、そろそろ、お帰りの時間ですね。

ご主人様、あまり無理をなされてはいけませんよ。

疲れた時は、いつでも私のところへ来てください。

ご主人様のこと...心配ですし...その、大好き、ですから。

...ふふ。それでは、いってらっしゃいませ。

またのご帰宅を、お待ちしております。

...告白のお返事は、その時に。ご主人様のお気持ち、お聞かせください。

...そして。

私を、ご主人様だけのメイドに、してくださいね。